

2 校内研修プログラムの特長

本書の第2章・校内研修プログラムは、それぞれ「解説編」と「研修の実際編」で構成しています。「解説編」と「研修の実際編」は、全て見開き2ページで掲載しています。

解説編

各研修において押さえておきたい内容の要点がまとめられています。

■研修番号・研修名

■研修のねらい 研修で身に付 けたいこと等 を掲載

■研修内容例① 研修内容の 要点を掲載

解説編

研修12 読むことについて①

「研修12」では、外国語「読むこと」が設定された経緯や目標等を知り、言語活動をどのように単元に位置付けるか、児童の活動をどのように進めようかを考えます。そのことを通じて「読むこと」を取り入れたい単元づくりの事例について学びます。

外国語科「読むこと」の概要

外国語科「読むこと」の単元の特徴や、目標、指導上の留意点、中学年の外国語活動での文法に関する事項について解説します。

○「読むこと」に関連した従来の外国語活動の課題

「音声中心の学習」が中心で、中学校の段階で「音声から文字への学習」に内容に拡張されていくこと。

高学年は、発音の聴覚的な思考が高まる段階であり、より体系的な学習が求められること。

○「読むこと」の目標

高学年で学んだ文字を認識し、その読み方を発音することができるようにする。
イ 音声と文字に一致した読み方を発音する意味が分かるようにする。

中学校の「読むこと」「聞くこと」の活動を踏まえた学習となるようにすること。
中学校の内部の調性とはなく、音声と文字とを関連付ける活動に傾くこと。

○「読むこと」の留意点

高学年から発達の段階に応じて段階的に文字を「読むこと」を加えて統合的・系統的に扱う学習を行うとともに、中学校への接続を踏まえたことを留意します。

「読解」的な活動は、「読むこと」を中心とするよう、音声と文字に両方とも関与する基本的な表現について、音声と文字とを関連付けて行うこと。

日本語と英語との両面での読みや、関連の文や文脈のまとまりを認識できるようにすること。

○中学年の外国語活動での文字に関する指導
③ 1 単語の意味と内容の読み取り
② イ 文字については、発音の学習資料に活用しつつ、音声によるコミュニケーションを軸とするものとして取り扱うこと。

■研修内容例②

参考となる資料等を掲載

「読むこと」の言語活動の具体例

「読むこと」の言語活動には、次のような例があります。

言語活動	具体例
1 読み聞かせ	不規則に読んだ音の文字を見ながら、読み取る文字と読み取った音の一致を確かめ、自分の名前を書き出し、自分の音の読み取りを確かめる。
2 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
3 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
4 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
5 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
6 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
7 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
8 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
9 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
10 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
11 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
12 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
13 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
14 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
15 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
16 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
17 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
18 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
19 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
20 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
21 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
22 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
23 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
24 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
25 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
26 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
27 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
28 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
29 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
30 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
31 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
32 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
33 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
34 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
35 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
36 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
37 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
38 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
39 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
40 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
41 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
42 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
43 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
44 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
45 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
46 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
47 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
48 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
49 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
50 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
51 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
52 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
53 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
54 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
55 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
56 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
57 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
58 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
59 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
60 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
61 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
62 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
63 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
64 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
65 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
66 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
67 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
68 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
69 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
70 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
71 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
72 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
73 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
74 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
75 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
76 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
77 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
78 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
79 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
80 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
81 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
82 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
83 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
84 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
85 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
86 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
87 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
88 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
89 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
90 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
91 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
92 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
93 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
94 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
95 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
96 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
97 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
98 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
99 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。
100 音声から読み取る	音声を聞いて、文字には、発音の音がわかるように読み取る。

研修の実際編

実際の研修の流れがまとめられています。

■研修番号・研修名

■事前に 準備する物 ■研修の留意点

■研修例(45分) 研修項目、 研修内容及び 使用する物を 掲載

研修の実際編

研修12 読むことについて①

○事前に準備する物
・小学教科書指導要領解説 外国語科(文部科学省 平成29年7月)
・英・Eikaiwa 2
・研修「解説編」(P42, 63)
・練習シート(P42, 93)

○研修の留意点
「読むこと」の単元計画を立案する際、研修対象者が中学年ので音声による活動や、中学校での内容を意識できるようにすること。

○研修例(45分)

時間	研修項目	研修内容	使用する物
5分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
10分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
15分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
20分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
25分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
30分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
35分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
40分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
45分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63

5分 研修を振り返ること。

研修を振り返ること。

○研修例(15分)

研修例(15分)

時間	研修項目	研修内容	使用する物
5分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
10分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
15分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
20分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
25分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
30分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
35分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
40分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63
45分	外国語科「読むこと」の概要について理解すること。	「読むこと」の概要について理解すること。	本書P42, 63

■コラム

用語の説明等、研修内容や外国語教育の理解に役立つ事項を掲載

新学習指導要領における外国語「読むこと」の扱い

新学習指導要領により、外国語活動が高等学校から中学校へ移行し、高等学校に外国語科が設けられたため、中学校に外国語科の必修科目が設定されたことによる影響を考慮する必要があります。しかし、その一方で、中学校に外国語科が必修科目として導入されたことにより、外国語科の必修科目「読むこと」に留意して、

(1) 読むことに関する事項は、発音のコミュニケーションによって進められる基本的な技能を身に付けること。

(2) 高学年から発達段階に応じた外国語科の授業を基本的な技能を身に付ける読み、自分の考えや感情を伝えることができるようになるように指導すること。

研修例(15分)

「読むこと」の単元計画を立案する際、研修対象者が中学年ので音声による活動や、中学校での内容を意識できるようにすること。

研修例(45分)

「読むこと」の単元計画を立案する際、研修対象者が中学年ので音声による活動や、中学校での内容を意識できるようにすること。

資料

本書の第3章は、演習シート例及び演習シート、プレゼンテーション画面を掲載しています。演習を適宜入れることで学びを深めることができます。

なお、これらの資料は、東京都教職員研修センターのホームページからダウンロードできます。

【研修5 演習シート例と演習シート】

■演習シート例
記入例は書体を変えて記載

■演習シート
そのまま使用する以外にも、学校の実態や目的に合わせて作り直すことが可能

研修5 (P34~37) 演習シート例

演習 目標に合わせた授業展開を考え、情報交換をします。
作成の視点 ① 目標にあった活動、形態、教材・教具、時間設定を考える。
 ② HRT (学級担任) の活動と ALT との連携を設定する。
 ※児童の実態 (想定) …前時までに、「Rainbow」の歌や虹の写真を基に、色の表現を学習している。

記入例

学年：3	単元名：My rainbow (小学校第3・4学年外国語活動指導資料 Lesson 4) (2/5時)
目標：好きな色や好きではない色を「I like ~」や「I don't like ~」を使って伝え合おうとする。	
準備物：・「Rainbow」のCD ・色の絵カード	
時間	○学習内容・児童の活動 ●HRT ▲ALT 立評価 (方法) ○教材・教具
2分	・挨拶をする。 ・カラータッチゲームをする。 ●色の絵カードを提示する。 T: Let's touch something red. C: (発見したら、タッチして座る。) Red ※第1時と同様に行う。
3分	ウオームアップ・導入 ○「Rainbow」を歌う。 ●色の部分を歌うことができるように、歌に合わせて絵カードを指し示す。
37分	展開 ○好きな色や好きではない色を伝えること。 ・教師が見たい虹を知る。 ●塗り絵を提示し、色の絵カードを示す。 I like (色). → その色を塗る。 I don't like (色). → その色を塗らない。 他の色についても同様の活動を繰り返して児童の理解を促す。 (例) My rainbow is red, yellow, pink, green, purple, orange and blue. ▲担任と共に活動し、児童の理解を促す。 ☆好きな色や好きではない色を「I like ~」や「I don't like ~」の表現を使って答えている。(行動観察) ●「I like ~」, 「I don't like ~」を使用する。 例えば、ペアをつくり「I don't like ~」をキーワードにし、それを言ったら目の前の消しゴムを取る…のようなルールとする。
3分	○振り返りをする。 ●挨拶をする。
まとめ	○振り返りカード

研修5 (P34~37) 演習シート

演習 目標に合わせた授業展開を考え、情報交換をします。
作成の視点 ① 目標にあった活動、形態、教材・教具、時間設定を考える。
 ② HRT (学級担任) の活動と ALT との連携を設定する。
 ※児童の実態 (想定) …前時までに、「Rainbow」の歌や虹の写真を基に、色の表現を学習している。

学年：3	単元名：My rainbow (小学校第3・4学年外国語活動指導資料 Lesson 4) (3/5時)
目標：好きな色や好きではない色について「Do you like ~?」と「Yes, I do.」や「No, I don't.」の表現を使って答えたり尋ねたりする。	
準備物：・「Rainbow」のCD ・色の絵カード	
時間	○学習内容・児童の活動 ●HRT ▲ALT 立評価 (方法) ○教材・教具
3分	・挨拶をする。 ・「Rainbow」を歌う。 ●色の絵カードを提示して確認する。 ●色の部分を歌うことができるように、歌に合わせて絵カードを指し示す。
5分	ウオームアップ・導入 ・キーワードゲームをする。 ▲担任と共に演習し、児童の理解を促す。
34分	
3分	○振り返りをする。 ●挨拶をする。
まとめ	○振り返りカード

